

大型クラゲ等有害生物出現調査及び情報提供事業

今井美代子

目 的

漁業被害の軽減を図るため、大型クラゲ、キタミズクラゲの出現・分布状況を県内漁協・漁業者からの聞き取り及び試験船を用いた洋上調査により把握し、漁業者に情報提供する。

材料と方法

1. 大型クラゲ

(1) 洋上調査

試験船開運丸及び青鵬丸により、日本海及び太平洋で目視調査を実施した。

(2) 出現状況調査

県内の漁協から大型クラゲの出現個体数を収集し、水産総合研究所ホームページ等により関係機関へ提供した。

(3) 標本船調査

新深浦町漁業協同組合所属の小型定置網漁船を標本船とし、大型クラゲの入網個体数を調査した。

2. キタミズクラゲ

(1) 出現状況調査

県内の漁協からキタミズクラゲの出現重量を収集し、水産総合研究所ホームページ等により関係機関へ提供した。

(2) 標本船調査

六ヶ所村漁業協同組合所属の小型定置網漁船を標本船とし、キタミズクラゲの入網重量を調査した。

結 果

1. 大型クラゲ

(1) 洋上調査

表1に示すとおり、10月1日～2日、10月26日～30日、12月3日、5日～9日に日本海で実施した洋上調査において、大型クラゲの出現は確認されなかった。

表1 試験船による洋上調査結果

調査日	試験船名	海域	表面水温	個体数	調査方法
10月1日～2日	青鵬丸	日本海	20.6～23.6℃	0	目視
10月26日～30日	開運丸	日本海	13.6～19.8℃	0	目視
12月3日、5日～9日	開運丸	日本海	7.3～15.9℃	0	目視

(2) 出現状況調査

9月3日に風合瀬沖及び深浦沖での報告に続き11月21日の六ヶ所村平沼沖まで、合計245件5433個体の報告があった(図1)。

(3) 標本船調査

深浦町における標本船調査の結果、9月に5個体、10月に129個体の計134個体が確認された。10月18日に100個体で最も多く確認されたが、このほかは1～6個体に留まった。

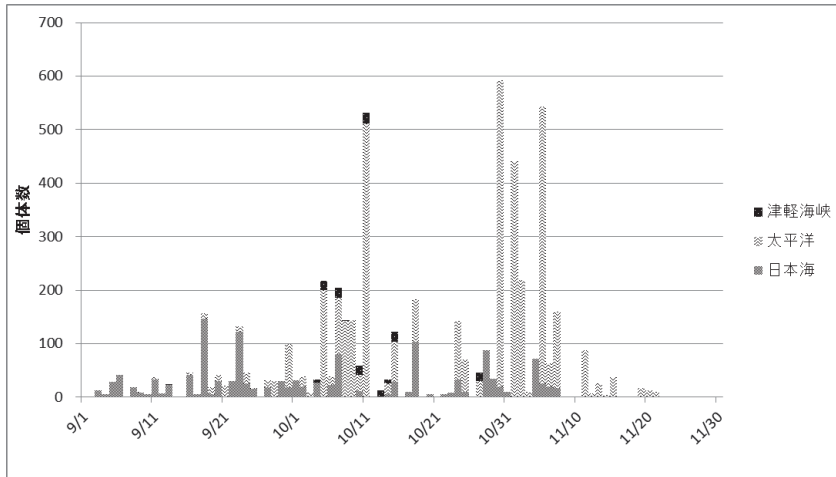


図1. 青森県の大型クラゲ海域別出現個体数(2013年).

2. キタミズクラゲ

(1) 出現状況調査

4月9日の六ヶ所村平沼沖での報告に続き6月7日の六ヶ所村平沼沖まで、六ヶ所村、三沢市沖で、合計56件374トンの出現報告があった(図2)。

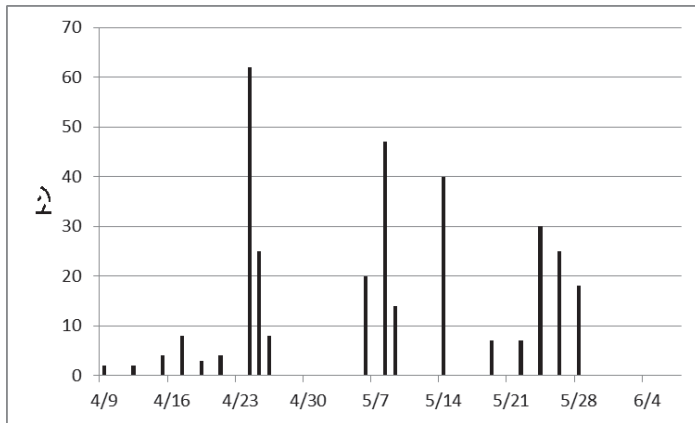


図2. 青森県のキタミズクラゲ出現重量(2013年).

(2) 標本船調査

六ヶ所村における標本船調査の結果、5月に159トン、6月に22トンの合計31日、181トン入網した。ただし、6月7日に7トン入網したあとは、300kg以下で少量であった(図3)。

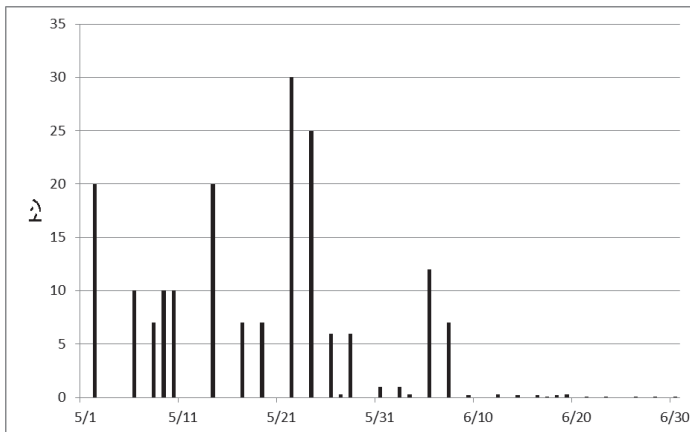


図3. キタミズクラゲの標本網入網重量(2013年).